



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 伊勢化学工業株式会社

コード番号 4107 URL <http://www.isechem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 鎌田 俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 岡山 和彦

TEL 03-3242-0520

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日

平成25年9月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	7,678	12.3	1,683	35.4	1,703	36.3	1,036	48.6
24年12月期第2四半期	6,834	1.3	1,243	59.2	1,249	54.9	697	70.7

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 1,353百万円 (83.4%) 24年12月期第2四半期 738百万円 (90.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	40.61	—
24年12月期第2四半期	27.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	24,817	20,054	80.8
24年12月期	23,284	18,906	81.2

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 20,054百万円 24年12月期 18,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	6.00	—	8.00	14.00
25年12月期	—	8.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	14.8	3,400	45.6	3,400	44.8	2,050	57.4	80.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期2Q	25,675,675 株	24年12月期	25,675,675 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	142,381 株	24年12月期	140,181 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期2Q	25,534,379 株	24年12月期2Q	25,537,952 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（2013年1月1日～2013年6月30日）におけるわが国経済は、欧州債務問題が継続するものの、米国経済、新興国経済の成長を背景に、金融政策をはじめとした各種経済政策効果への期待のもと、実体経済の厳しい状況が続くなかで、個人消費・輸出等の増加に伴い、緩やかな景気回復基調となりました。

このような状況におきまして、当社グループの業績内容は、積極的な国内外の事業展開の実施に伴う主力のヨウ素製品の販売増加に加え、為替レートの円安効果等もあり堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は76億7千8百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益は16億8千3百万円（前年同期比35.4%増）、経常利益は17億3百万円（前年同期比36.3%増）、四半期純利益は10億3千6百万円（前年同期比48.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、従来、「ヨウ素及び天然ガス事業」、「金属化合物事業」、「その他事業」の3区分としていた報告セグメントを、「その他事業」の量的な重要性が乏しくなったため、「ヨウ素及び天然ガス事業」、「金属化合物事業」の2区分に変更し、「その他事業」は「ヨウ素及び天然ガス事業」に含めて表示しております。

前第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、変更後の区分に基づき組替えて表示しております。

[ヨウ素及び天然ガス事業]

ヨウ素及び天然ガス事業では、主力のヨウ素製品の堅調な販売を受けて、売上高及び営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は68億2千9百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益は20億9千8百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

[金属化合物事業]

金属化合物事業では、出荷量の増加があったものの、売上高は前年同期を下回る水準となりました。一方、損益面では改善効果により営業損失は前年同期より減少いたしました。

この結果、売上高は8億4千8百万円（前年同期比2.9%減）、営業損失は9千8百万円（前年同期は営業損失1億4千万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して15億3千3百万円増加の248億1千7百万円となりました。これは主に、売掛金及び有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して3億8千5百万円増加の47億6千2百万円となりました。これは主に、買掛金及び未払法人税等が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して11億4千8百万円増加の200億5千4百万円となりました。これは主に、配当金の支払があったものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことに加え、円安により為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末残高に比べ1億6千1百万円減少し、77億2千4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、11億7千9百万円（前年同期は20億1千6百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上に加え、売上債権の増加額及び法人税等の支払額等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により使用した資金は、12億6千4百万円（前年同期は8億9千7百万円）となりました。これは主に、ヨウ素及び天然ガス事業等の設備投資に伴う支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により使用した資金は、2億1千1百万円（前年同期は1億5千7百万円）となりました。これは主に、配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年4月25日に公表しました、「平成25年12月期 第1四半期決算短信」に記載の平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）との差異が生じたため、平成25年7月25日に連結及び個別ともに業績予想を修正し、「平成25年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示いたしましたのでご参照ください。

当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、需要動向の変化等多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は種々の要素により現時点での予想と乖離する可能性がありますのでご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰り延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,433	1,698
受取手形及び売掛金	3,592	4,372
商品及び製品	1,617	1,641
仕掛品	269	299
原材料及び貯蔵品	546	607
短期貸付金	6,452	6,025
その他	154	330
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	14,063	14,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,615	2,695
機械装置及び運搬具（純額）	3,099	3,442
土地	1,464	1,485
建設仮勘定	1,063	1,099
その他（純額）	156	177
有形固定資産合計	8,398	8,901
無形固定資産		
ソフトウェア	14	201
ソフトウェア仮勘定	117	—
その他	210	239
無形固定資産合計	342	441
投資その他の資産		
繰延税金資産	253	268
その他	226	232
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	479	501
固定資産合計	9,220	9,843
資産合計	23,284	24,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	774	982
短期借入金	600	600
未払金	1,059	1,145
未払法人税等	619	713
賞与引当金	104	114
役員賞与引当金	10	5
その他	253	250
流動負債合計	3,422	3,812
固定負債		
退職給付引当金	720	710
役員退職慰労引当金	32	37
資産除去債務	127	141
その他	74	60
固定負債合計	955	950
負債合計	4,377	4,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,599	3,599
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	12,213	13,045
自己株式	△93	△95
株主資本合計	19,650	20,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	2
為替換算調整勘定	△740	△429
その他の包括利益累計額合計	△743	△427
純資産合計	18,906	20,054
負債純資産合計	23,284	24,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)
売上高	6,834	7,678
売上原価	4,981	5,323
売上総利益	1,853	2,354
販売費及び一般管理費	610	671
営業利益	1,243	1,683
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	0	0
受取分配金	7	12
その他	3	3
営業外収益合計	16	22
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	9	1
営業外費用合計	10	2
経常利益	1,249	1,703
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取補償金	—	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	83	67
特別損失合計	83	67
税金等調整前四半期純利益	1,166	1,639
法人税、住民税及び事業税	580	742
法人税等調整額	△112	△139
法人税等合計	468	602
少数株主損益調整前四半期純利益	697	1,036
四半期純利益	697	1,036

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	697	1,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	6
為替換算調整勘定	37	310
その他の包括利益合計	40	316
四半期包括利益	738	1,353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	738	1,353
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,166	1,639
減価償却費	698	604
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	35	△9
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	9
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4	△5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	4
受取利息及び受取配当金	△5	△6
支払利息	1	1
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	0
固定資産除却損	83	67
売上債権の増減額(△は増加)	357	△726
たな卸資産の増減額(△は増加)	2	△77
仕入債務の増減額(△は減少)	△42	381
その他	△29	△55
小計	2,264	1,826
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△253	△652
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,016	1,179
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	0	2
有形固定資産の取得による支出	△824	△1,183
無形固定資産の取得による支出	△68	△79
その他	△5	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△897	△1,264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△153	△204
その他	△4	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△157	△211
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	981	△161
現金及び現金同等物の期首残高	6,602	7,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,583	7,724

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自2012年1月1日至2012年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,960	873	6,834	—	6,834
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	(—)	—
計	5,960	873	6,834	(—)	6,834
セグメント利益又は損失(△)	1,684	△140	1,544	△301	1,243

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△301百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2013年1月1日至2013年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,829	848	7,678	—	7,678
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	(—)	—
計	6,829	848	7,678	(—)	7,678
セグメント利益又は損失(△)	2,098	△98	1,999	△316	1,683

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△316百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来、「ヨウ素及び天然ガス事業」、「金属化合物事業」、「その他事業」の3区分としていた報告セグメントを、「その他事業」の量的な重要性が乏しくなったため、「ヨウ素及び天然ガス事業」、「金属化合物事業」の2区分に変更し、「その他事業」は「ヨウ素及び天然ガス事業」に含めて表示しております。

前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの業績は、変更後の区分に基づき組替えて表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。